

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年12月27日

計画の名称	枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）			
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	枚方市	
計画の目標	①根幹となる雨水施設の整備を進め、集中豪雨等に伴う浸水被害の軽減を図る。			
計画の成果目標（定量的指標）	①根幹となる雨水の幹線管渠整備率を44%から45.2%へ向上させる。（10年確率降雨）			
定量的指標の定義及び算定式	①雨水管の主要な管渠の整備率 主要な管渠(雨水)の整備済み延長(m)／99,978m 整備すべき主要な管渠(雨水)の延長(m)			備考
		定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
	計画	44%	44.6%	45.2%
	実績	43.6%	44.2%	44.8%
全体事業費	計画 実績	合計 (A+B+C)	2,857百万円 2,811百万円	A 2,817百万円 2,779百万円
		B	0百万円 0百万円	C
			40百万円 32百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)
				1.4% 1.1%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制	平成28年11月
枚方市上下水道局において評価を実施し、枚方市上下水道事業経営審議会で意見を求めた。	公表の方法
	枚方市ホームページにて公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	楠葉排水区利根川雨水管渠	雨水管φ1,800 L=356m	枚方市	計画 実績					420 377	
1-A1-3	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	藤本川排水区養父丘雨水管渠	雨水管 U1,900×1,800 L=192m	枚方市	計画 実績					41 29	
1-A1-4	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	長尾排水区長尾谷町雨水管渠	雨水管φ1,350 L=316m	枚方市	計画 実績					122 122	
1-A1-5	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	黒田川排水区雨水支線雨水管渠	雨水管 U2,800×2,500 L=70m	枚方市	計画 実績					40 40	
1-A1-6	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	黒田川排水区内野雨水管渠	雨水管 3,300×3,000 L=300m	枚方市	計画 実績					284 231	
1-A1-8	下水道	一般	枚方市	直接	—	ポンプ場	増設	溝谷川ポンプ場増設	流入渠、沈砂池(600㎡)、用地(2,352㎡)	枚方市	計画 実績					600 747	H27繰越
1-A1-10	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	蹠跽排水区久保川雨水管渠	雨水管 (久保川) L=300m	枚方市	計画 実績					430 402	
1-A1-11	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	改築	地震対策	耐震診断及び耐震補強	枚方市	計画 実績					70 87	総合地震 H27繰越
1-A1-19	下水道	一般	枚方市	直接	—	ポンプ場	新設	新安居川ポンプ場	用地(1,079㎡)	枚方市	計画 実績					270 237	
1-A1-20	下水道	一般	枚方市	直接	—	雨水	新設	蹠跽排水区浸水対策	下水道浸水被害軽減 総合事業計画策定	枚方市	計画 実績					540 507	浸水被害
合計															2,817 2,779		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計															0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-6	下水道	一般	枚方市	直接	—	全種	内水ハザードマップ作成	内水ハザードマップの作成	枚方市						40 32	
合計															40 32	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-6	基幹事業（1-A1-1～1-A1-10、1-A1-18～1-A1-20）に関連する内水ハザードマップの作成を行い、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・主要な管渠の整備率を43.6%から44.8%に向上させたことにより、浸水被害の軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 整備人口普及 率）	最終目標値	44.8%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	44.8%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	計画的に雨水整備を進め、目標を達成することができた。			

3. 特記事項（今後の方針等）	
・計画期間が平成27年度から平成31年度の「第2次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）」においても安全で安心なまちづくりに寄与するため、主要な管渠・ポンプ場の整備や下水道浸水被害軽減総合計画に基づく雨水貯留施設の整備等を進める。	
・整備計画を変更した際、定量的指標の現況値及び目標値を当初現況値44%から+1.2ポイントの整備を目標に45.2%として事業を実施し、目標の+1.2ポイントの整備を達成したが整備状況を正確に示すため、当初現況値43.6%からの達成値とし、1.2ポイントを加算した44.8%を本計画の最終目標値として評価することとした。	
・下水道法に基づく主要な管渠（雨水）の整備率は44.5%となるが、本事業での整備率は「楠葉排水区利根川雨水管渠」の雨水管渠を加えた44.8%となる。	
<平成28年11月8日に開催された枚方市上下水道事業経営審議会における主な意見>	
・目標の達成状況や効果の発現状況など、評価内容については妥当である。	
・平成30年度の住居系地域の汚水概成と合わせて、雨水についても更に一層の整備を進めること。	

# 社会資本整備計画

計画の名称 枚方市安全・安心下水道整備計画(防災・安全)

計画の期間 平成22年度～平成26年度(5年間)

交付対象 枚方市

